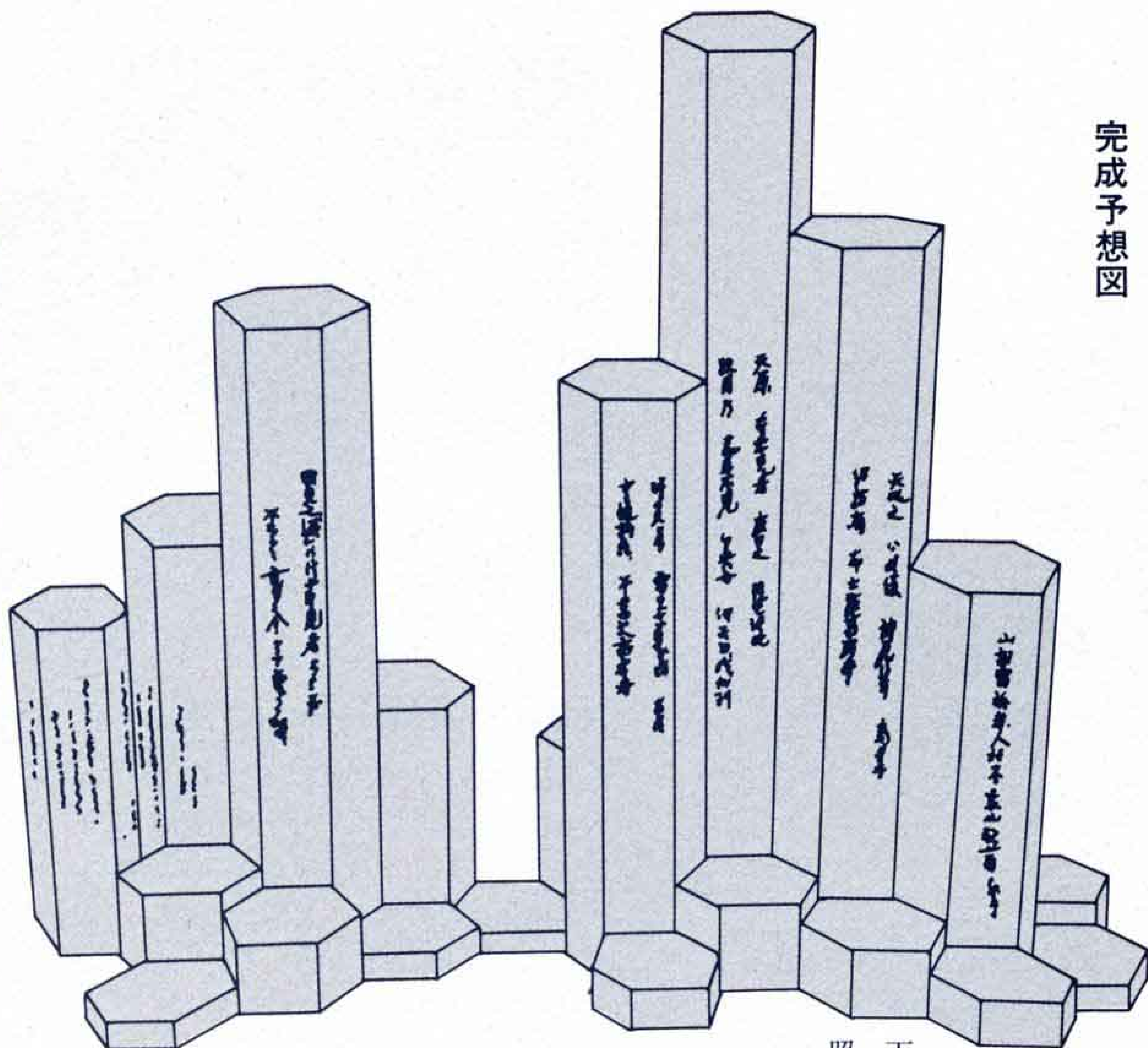


完成予想図



海の玄関に

富士山の歌碑

カーフェリー発着場近くに

三月完成予定

市教育委員会は、郷土の貴重な歴史文化を後世に伝えるため、万葉集の中でも有名な山部赤人の詠んだ「富士山を望む歌」の歌碑を建立します。場所は、市内前田の駿河湾カーフェリー発着所入口近くで、完成は3月中旬の予定であり、観光資源としても大いに期待されます。

また、赤人の歌を平井康三郎氏が作曲した、交声曲「不尽山を見て」を、3月23日、文化センターで行われる「しずおかのうたを訪ねて」の中で今泉混声合唱団が発表します。

山部赤人について

奈良時代の歌人で、朝廷に仕え、万葉集に多くの歌を残しています。歌碑となる歌は、おそらく赤人が仕事で東国を旅した時に詠んだものと思われます。

山部赤人 富士山を望む歌
 天地の 分れし時ゆ 神さびて 高く貴き
 駿河なる 富士の高嶺を
 天の原 振りさけ見れば 渡る日の 影も隠らい
 照る月の 光も見えず 白雲も い行きはばかり
 時じくぞ 雪は降りける 語りつぎ
 言い継ぎ行かん 富士の高嶺は

(現代読み)

田子の浦ゆうち出でて見ればま白にぞ

富士の高嶺に雪は降りける



◀ 交声曲「不尽山を見て」
を練習する今泉混声合唱団

しずおかのうたを訪ねて ～富士山をうたう～

と き 3月23日(日) 13:30～
 ところ 富士文化センターホール
 入場料 300円
 共 催 しずおかのうた実行委員会
 財富士市施設利用振興公社
 問い合わせ先 市教育委員会文化体育課 ☎51-0123 内線610